

富津市立保育所自己評価書

(竹岡保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和5年4月～令和6年2月

令和6年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	A	家庭との連携は密に行い、感染症発生時には早急に保護者へ周知し感染拡大防止に努めた。また、今年度は、全職員が救命講習を受講し、安全な保育が提供できるようにしている。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	少人数ならではの良さを活かし、一人ひとりの園児に合わせてゆったりと関わり、安心して日々過ごせるようにしている。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	地域性や自然環境を活かした活動を行い、職員、保護者、地域の方も一緒に楽しめるようにしている。
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。	A	子どものさりげない仕草や表情を見逃さないようにし、一人ひとりに合わせた対応を行ってきた。子どもが自信を持てるよう働きかけることを大事にしている。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	未満児は以上児の活動の真似をして、充実した園外保育ごっこが展開できた。以上児もレストランごっこがブームとなり、発表会へと繋がった。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	それぞれいろいろな考え、思いがあることに気づくような声かけをしている。
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	A	自転車に乗る時のルールを年長児自ら考えたり、自分達でタイムタイマーを活用したりしている。

環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	地域の方の協力もあり、安全で活動しやすい環境が整えられている。恵まれた自然環境を活かした活動が来ている。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	野菜の収穫や自然物を使った遊びを通して、形や大きさ、量などの物の性質に気づく機会を多く持っている。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	海に近いという立地条件を活かし、富士山の雄大さや見る場所によって見え方が違うことに気づいたり、海水から塩を作ったり、様々な気づきを得られている。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	A	年長児は手紙交換やネームプレート作りなど、文字に親しむ機会が多かった。他児も給食時に型抜きされた野菜や盛られた個数などから形や数に興味を示せるようにしている。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	一人ひとりに応じた関わりを大切に、自分の要求が言えるように待ったり、選択肢を与えたり工夫してきた。また、どの職員も肯定的な言葉がけを意識している。
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	日常の絵本の読み聞かせだけでなく、月に1度ボランティアの方に読み聞かせを行ってもらっている。移動図書も活用し、絵本の存在を身近に感じられるようにしている。

	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	一人ひとりの発言を大切にし、伝えあうことが楽しいと思えるようにしている。また、ゆったりとした気持ちで聞いたり話したりできるよう、時間の余裕を持つようにしている。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	職員以外の人との関わりも多く、その場に応じた言葉使いが出来るようにしている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	今年度は今まで以上に、自然物を使った活動を行った。五感を使った遊びを十分に楽しんでいる。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	B	前半は『ジャンボリミッキー』を未満児から年長児まで一緒になって楽しんでいた。今後は、リズムやわらべうたをもっと充実させていきたい。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	畑で収穫した野菜の形や手触り、食べる時の音、生き物の動き、波の音など、五感を通して伝わるものに気づけるようにしている。また、その気づきをみんなで共有し、楽しめるようにしている。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	一人ひとりの気づきを職員も聞き逃さないようにし、一緒に感動を味わえるようにしている。少人数だからこそ、みんなで同時に伝えあえる楽しさを感じている。
保護者への支	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	保育参加時に全員、個別面談を実施している。また、必要に応じて、いつでも個別の相談を持てるようにしてい

		る。座談会も企画し、保護者同士が繋 がれる場も提供している。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容 が必要に応じて記録されている。	A 個々の記録（児童票）や保育日誌に記 載し、情報が引き継げるようにしてい る。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境 を整備し、迅速に対応している。	A 職員は、保護者が相談しやすい雰囲気 づくりを心がけている。フェスティバ ルや発表会の後には、アンケートを実 施し、保護者の意見を聞けるようにし ている。また、相談や意見は共通理解 を図り、改善点については早急に対応 している。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生か している。	A それぞれの行事のねらいを職員間で共 通理解を持って実施している。また、 保護者にも職員室だよりやドキュメン テーション等を通して、行事のねらい を伝えるようにしている。
	保護者の願いや意見を取り入れてい る。	B 全ての願いを取り入れることは難しい が、保護者と話したり、アンケートを 実施したりして、願いや意見を把握す るようになっている。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっ ている	A 今年度、新たに計画した園外保育につ いては十分な下見を行い、安全面を確 認した。また、初めて行うクッキング や染物等についても試作をしている。 実施後は、職員会議等で反省を行い、 次年度に活かせるよう記録している。

その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	個人情報に関するものは、管理場所を決め、適切に管理している。また、職員は守秘義務を遵守している。
	園内研修を実施している。	A	自然環境保育に関すること、不適切な保育について等、その時々でテーマを決め、実施している。園内研修という枠組みだけでなく、職員会議時に研修報告を行い、職員同士での意見交換も行っている。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	A	タイムリーにドキュメンテーションを作成し、誰もが見やすい場所へ掲示して、保護者へ保育の様子や活動内容を知らせている。また、感染症情報や気象情報なども随時知らせている。